

令和7年度 第1回

和泉市地域包括支援センター運営協議会

令和7年8月28日（木）午後1時30分～

和泉市役所庁舎別館1階 会議室1-1

次 第

1 令和6年度第2回和泉市地域包括支援センター 運営協議会 振返りについて	P1
(報告)	
2 活動状況について	
I 高齢者等の状況	P2 ~ P3
II-1 令和6年度 地域包括支援センターの活動について	P4 ~ P15
-2 令和6年度 基幹機能強化型地域包括支援センター の活動について	P16 ~ P17
-3 令和6年度 認知症機能強化型地域包括支援センター の活動について	P18 ~ P20
-4 令和6年度認知症地域支援推進員の活動状況について	P21 ~ P23
-5 令和6年度 生活支援コーディネーター事業の 活動状況について	P24 ~ P27
(報告)	
3 令和6年度地域包括支援センター決算報告	P28
(参考)	
令和7年度 地域包括支援センター職員一覧表	P29

令和6年度 第2回地域包括支援センター運営協議会 振返り資料

【開催日時】 令和7年3月14日（金）午後2時～

【主な内容】

①令和6年度4月～12月 地域包括支援センター事業計画結果について

②在宅医療・介護連携推進事業との連携について

上記内容に関し、下記の意見・提案等があった

【質問・意見等】

NO	提案（意見）	その場の対応	対応状況
1	権利擁護の相談に対し、「繋がらなかった場合」の課題分析が必要だと考える。まずは地域包括支援センターへの相談が多いと思うが、先に進めるための課題は何でしょうか？	家庭裁判所への申請につなげる過程での支援スキル向上も課題の一つです。社会福祉士会等と連携や研修等を通じて、地域からの相談に適切に対応できるよう努めます。	相談・研修の実績件数の把握、支援スキル向上のため、法律相談・面談を継続して実施してる。中核機関が令和6年度下半期から立ち上がり、運営会議等を通して、成年後見制度の課題検討を行っています。
2	（ご意見のみ）在宅医療連携拠点において、介護分野との連携は不可欠である。地域包括支援センターからコーディネーターとして参加することは非常に重要である。地域包括支援センターからの積極的な参加をお願いしたい。		令和7年度より、地域包括支援センターの職員1名がコーディネーターとして参加いただいています。

報告事項

I. 和泉市の高齢者等の状況

各年度3月末現在

1. 生活圏域別高齢者人口と高齢化率

資料：和泉市住民登録人口調

(1) 65歳以上人口 (人)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
圏域1	10,262	10,257	10,205
圏域2	13,144	13,256	13,404
圏域3	11,156	11,401	11,678
圏域4	12,760	12,801	12,774
男女計	47,322	47,715	48,061

(2) 高齢化率（人口に対する65歳以上高齢者の割合） (%)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
圏域1	信太	30.4	30.6	30.8
	富秋	30.7	31.3	30.9
圏域2	郷荘	27.1	27.6	28.2
	和泉	24.7	25.0	25.2
圏域3	郷荘	29.1	29.6	30.8
	石尾	20.1	20.5	20.8
	北池田	23.7	24.5	25.3
圏域4	光明台	29.4	30.1	30.7
	南松尾はつが野	20.5	20.4	17.0
	南池田	21.7	21.2	21.8
	槇尾	40.8	41.4	41.2
計		25.8	26.1	26.4

圏域1
= 30.8%

圏域2
= 26.5%

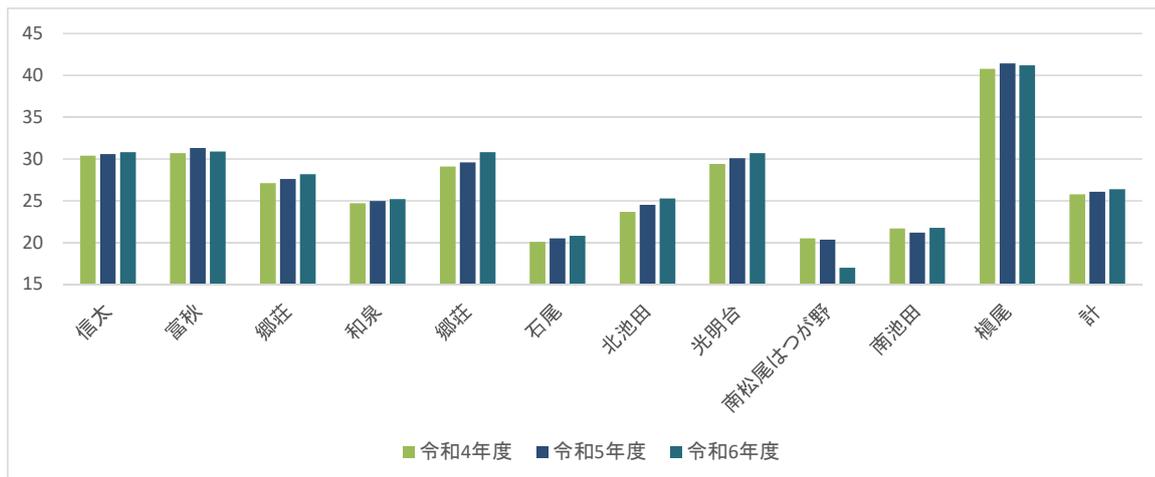
圏域3
= 23.6%

圏域4
= 26.1%

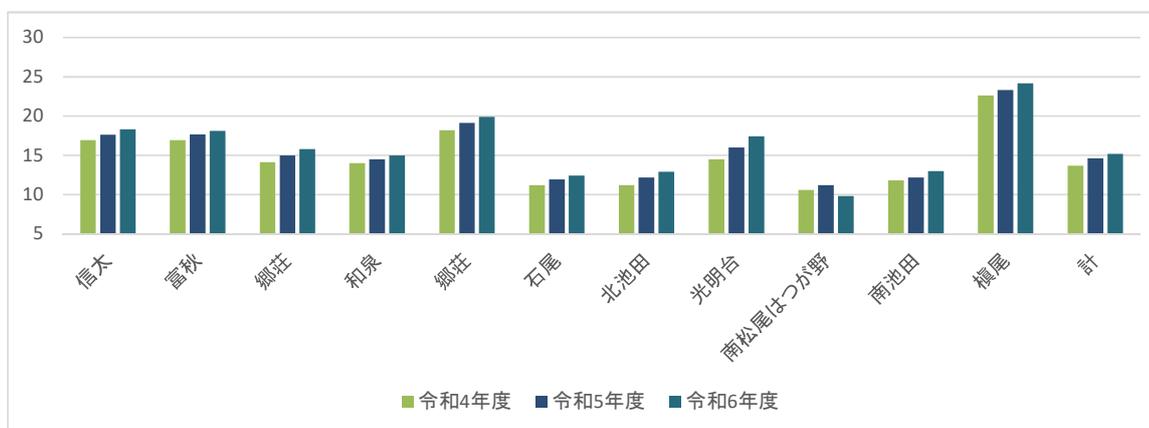
(3) 75歳以上の割合 (%)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
圏域1	信太	16.9	17.6	18.3
	富秋	16.9	17.7	18.1
圏域2	郷荘	14.1	15.0	15.8
	和泉	14.0	14.5	15.0
圏域3	郷荘	18.2	19.1	19.9
	石尾	11.2	12.0	12.4
	北池田	11.2	12.2	12.9
圏域4	光明台	14.5	16.0	17.4
	南松尾はつが野	10.6	11.2	9.8
	南池田	11.8	12.2	13.0
	槇尾	22.6	23.3	24.2
計		13.7	14.6	15.2

高齢化率



75歳以上高齢者の割合



分析など

- 高齢者数
第1圏域は減少傾向、第2圏域、第3圏域は増加傾向、第4圏域は昨年度から減少。
- 高齢化率
和泉市は中部を中心に若い世代の流入があり、国や府の値よりも低くなっている。
 - <65歳以上> 全国：29.3% 大阪府：27.6% (R6.10.1時点) 和泉市：26.4%
 - <75歳以上> 全国：16.8% 大阪府：16.7% (R6.10.1時点) 和泉市：15.2%
- 経年比較
高齢化率は毎年右肩上がり。特に、後期高齢者の比率が大きくなっている。
- 地域差
槇尾中学校区は高齢化率が40%を超え、第1圏域の信太、富秋、第3圏域の郷荘、第4圏域の光明台が30%程度となっている。

Ⅱ. 地域包括支援センターの活動状況について

Ⅱ-1. 令和6年度 地域包括支援センターの活動について

1. 総合相談支援業務

(1) 相談件数(延)

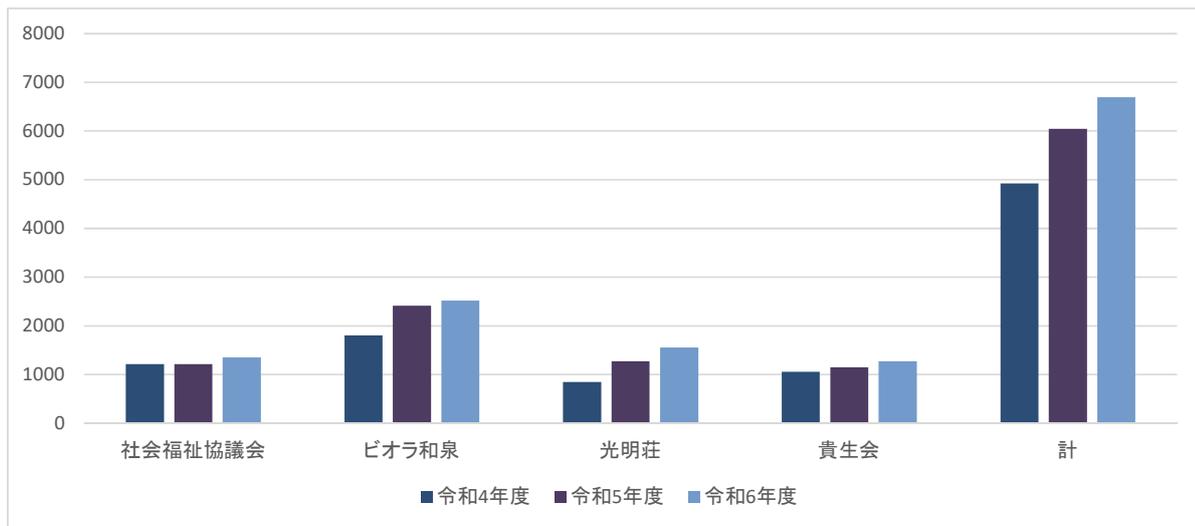
	令和4年度	令和5年度	令和6年度
社会福祉協議会	1,212 件	1,214 件	1,352 件
ビオラ和泉	1,807 件	2,415 件	2,515 件
光明荘	850 件	1,273 件	1,555 件
貴生会	1,057 件	1,145 件	1,273 件
計	4,926 件	6,047 件	6,695 件

(2) 相談件数 令和6年度 内訳(延)

	社会福祉協議会	ビオラ和泉	光明荘	貴生会	合計
介護保険に関すること	764 件	1,166 件	847 件	775 件	3,552 件
介護予防・生活支援サービス	115 件	503 件	106 件	22 件	746 件
福祉サービスに関すること	67 件	194 件	57 件	51 件	369 件
医療介護連携	111 件	131 件	102 件	60 件	404 件
認知症ケア	77 件	174 件	99 件	52 件	402 件
住まい	44 件	32 件	21 件	39 件	136 件
見守り(安否確認の相談等)	31 件	72 件	19 件	47 件	169 件
地域活動・生きがいづくり	5 件	65 件	42 件	14 件	126 件
精神疾患	26 件	16 件	27 件	21 件	90 件
高齢者虐待	5 件	13 件	17 件	14 件	49 件
成年後見制度	23 件	34 件	25 件	26 件	108 件
生活困窮	17 件	15 件	14 件	12 件	58 件
介護保険サービス等に関する苦情	3 件	4 件	13 件	27 件	47 件
道迷い(認知症など)	1 件	7 件	9 件	10 件	27 件
自殺	13 件	0 件	5 件	0 件	18 件
消費者被害	0 件	9 件	5 件	5 件	19 件
介護離職	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
ヤングケアラー	1 件	1 件	4 件	0 件	6 件
その他	49 件	79 件	143 件	98 件	369 件
計	1,352 件	2,515 件	1,555 件	1,273 件	6,695 件

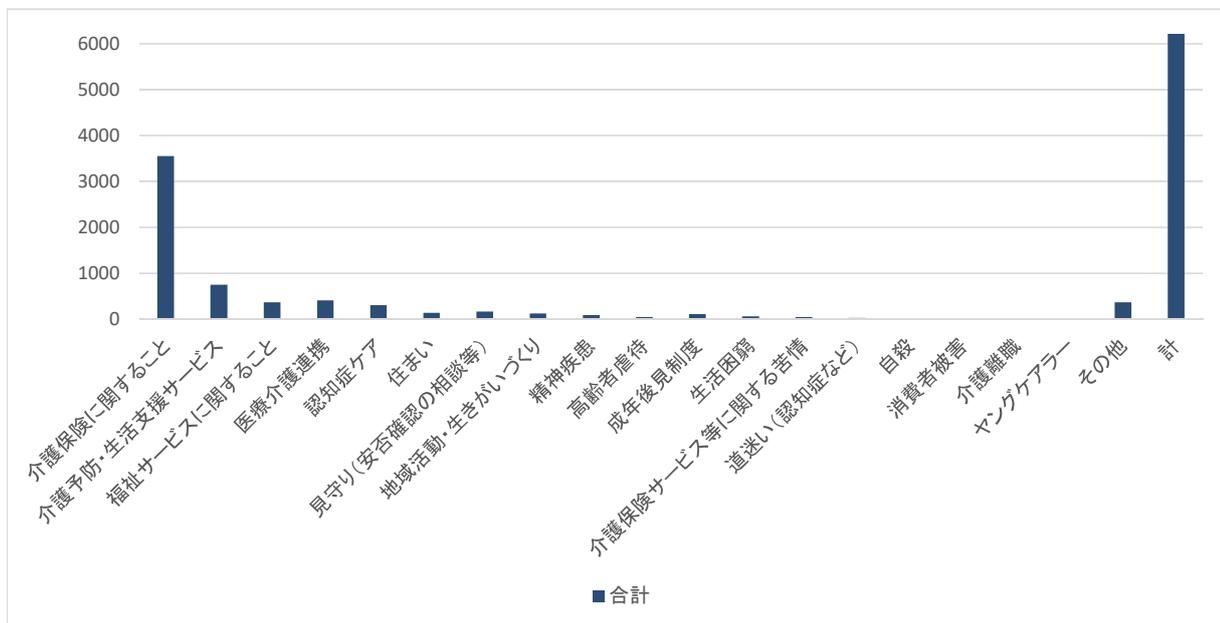
令和6年10月より各地域包括支援センターに「認知症地域支援推進員」が配置されたが、それ以前は「総合相談支援業務」の一環として相談を受けていた。よって、令和6年度は「地域包括支援センター」の総合相談支援業務の相談件数に「認知症地域支援推進事業」の相談件数が包括されている。

相談件数



- 高齢者が増加していることから、相談件数は基本的に右肩上がり。
- ビオラ和泉の相談ケースが非常に多くなっているが、ビオラ包括は高齢者人口が多く、また地域に出向くことも多いことから、相談を受ける機会が多いためと思われる。

相談内訳



- 相談件数は、前年度と比較して1.1倍と増加している。そのうち、介護予防・生活支援サービス、認知症ケア、成年後見制度に関する相談が増えている
- 消費者被害について、市役所・包括・消費者生活センターと連携し、市内介護事業所向けに消費者被害防止についての研修を実施。

3.介護予防普及啓発業務

(1) 介護予防の普及啓発件数(延)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
社会福祉協議会	一日講座	0 件	7 件	0 件
	シリーズ講座	0 回	2 回	0 回
	フォロー	0 回	0 回	2 回
ピオラ和泉	一日講座	5 件	10 件	2 件
	シリーズ講座	5 回	9 回	1 回
	フォロー	33 回	47 回	76 回
光明荘	一日講座	1 件	1 件	2 件
	シリーズ講座	2 回	5 回	0 回
	フォロー	3 回	33 回	18 回
貴生会	一日講座	3 件	5 件	4 件
	シリーズ講座	3 回	1 回	0 回
	フォロー	45 回	39 回	34 回
計	一日講座	9 件	23 件	8 件
	シリーズ講座	10 回	17 回	1 回
	フォロー	81 回	119 回	130 回

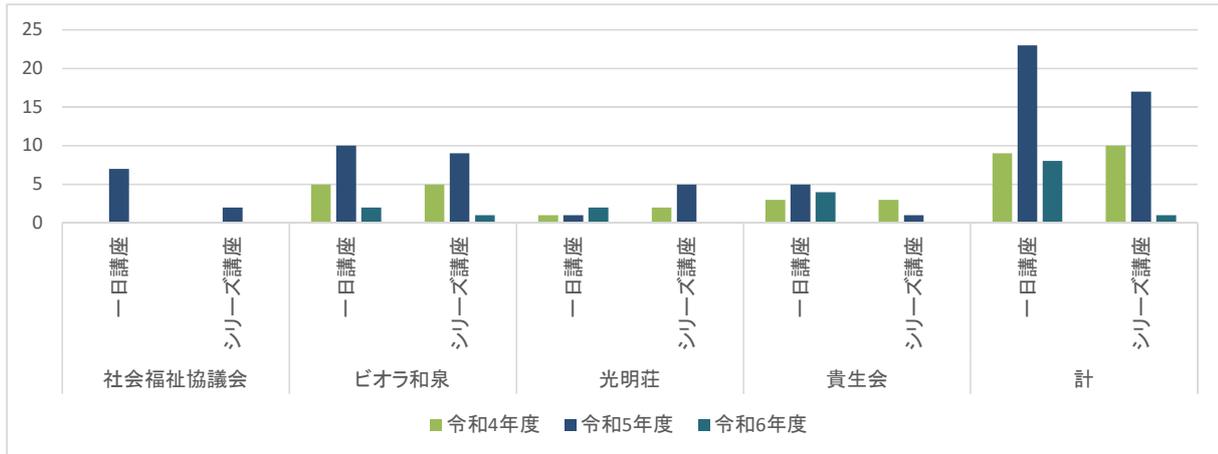
4.介護予防ケアマネジメント業務

(1) 総合事業対象者プラン作成件数(新規)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
社会福祉協議会	18 件	20 件	27 件
ピオラ和泉	16 件	28 件	26 件
光明荘	13 件	27 件	16 件
貴生会	10 件	26 件	25 件
計	57 件	101 件	94 件

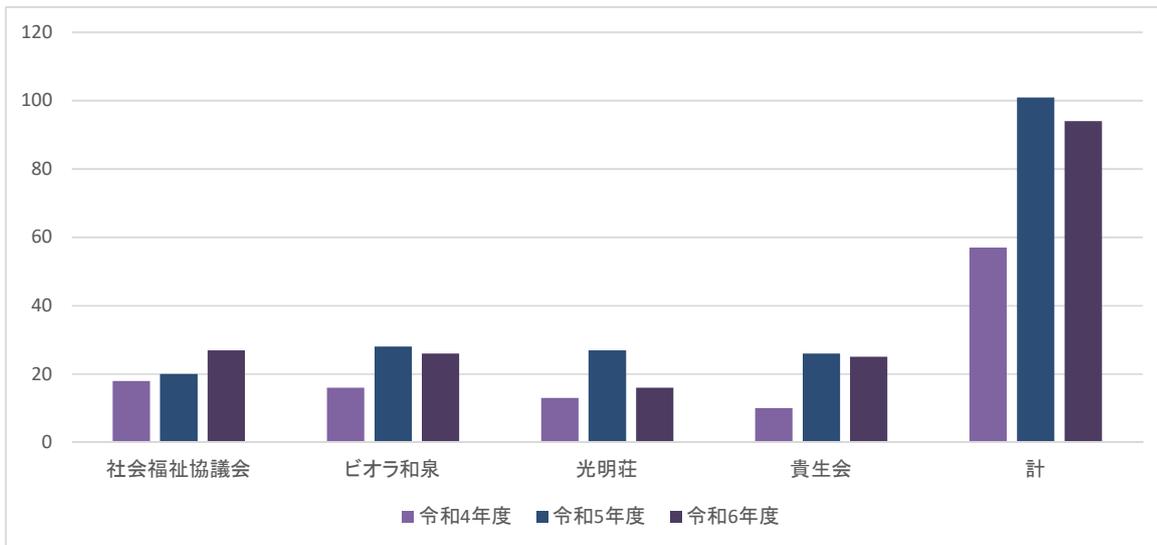
●総合事業の多様なサービスである、はつらつ教室、おたがいさまサポーター事業、移動支援サービス事業を利用するにあたり作成するケアプランであり、件数は横ばいで推移している。

介護予防の普及啓発件数



●コロナ禍の後、地域活動を再開していることから、フォローの件数が増えている。
 ⇒引き続き、地域での介護予防に取り組んでもらえるよう、周知を実施していく。

総合事業対象者プラン作成件数



●ビオラ和泉、貴生会については、はつらつ教室へつなぐケースが伸びている。
 ⇒介護サービスに頼らない自立した日常生活をおくれるよう、総合事業の利用を推進していく。

(2) 要支援者

①プラン作成件数(新規・更新)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
社会福祉協議会	包括	190 件	175 件	121 件
	委託	662 件	735 件	664 件
	委託率	77.7 %	80.8 %	84.6 %
ピオラ和泉	包括	82 件	31 件	7 件
	委託	986 件	805 件	659 件
	委託率	92.3 %	96.3 %	98.9 %
光明荘	包括	48 件	73 件	111 件
	委託	1,001 件	1,019 件	905 件
	委託率	95.4 %	93.3 %	89.1 %
貴生会	包括	58 件	81 件	47 件
	委託	1,076 件	1,080 件	584 件
	委託率	94.9 %	93.0 %	92.6 %
計	包括	378 件	360 件	286 件
	委託	3,725 件	3,639 件	2,812 件
	委託率	90.8 %	91.0 %	90.8 %

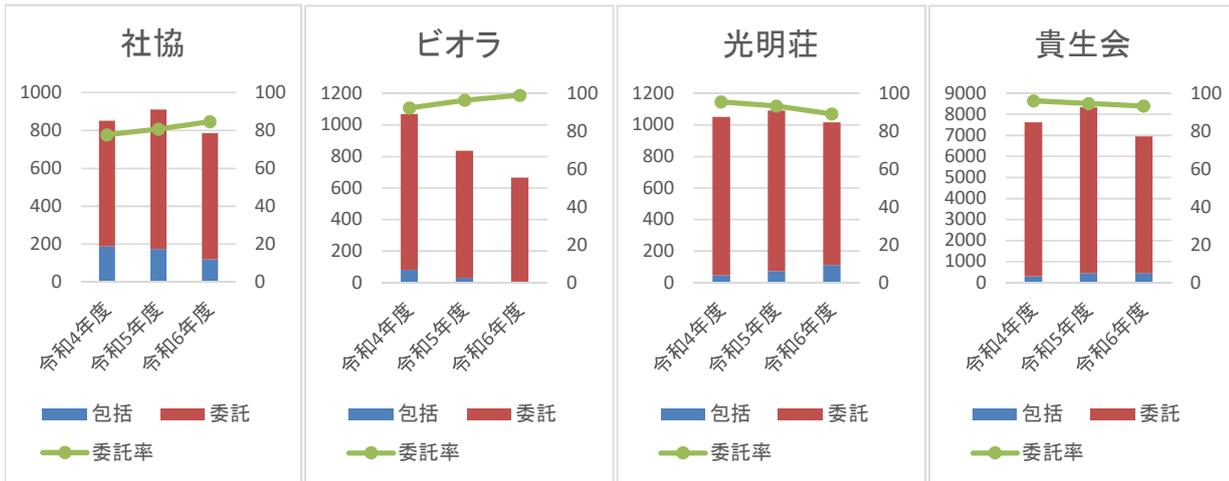
②給付管理件数(延)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
社会福祉協議会	包括	1,584 件	1,628 件	1,609 件
	委託	4,448 件	4,640 件	4,641 件
	委託率	73.7 %	74.0 %	74.3 %
ピオラ和泉	包括	697 件	350 件	23 件
	委託	7,296 件	7,551 件	7,233 件
	委託率	91.3 %	95.6 %	99.7 %
光明荘	包括	419 件	355 件	539 件
	委託	5,672 件	6,215 件	6,202 件
	委託率	93.1 %	94.6 %	92.0 %
貴生会	包括	300 件	454 件	465 件
	委託	7,325 件	7,870 件	6,476 件
	委託率	96.1 %	94.5 %	93.3 %
計	包括	3,000 件	2,787 件	2,636 件
	委託	24,741 件	26,276 件	24,552 件
	委託率	89.2 %	90.4 %	90.3 %

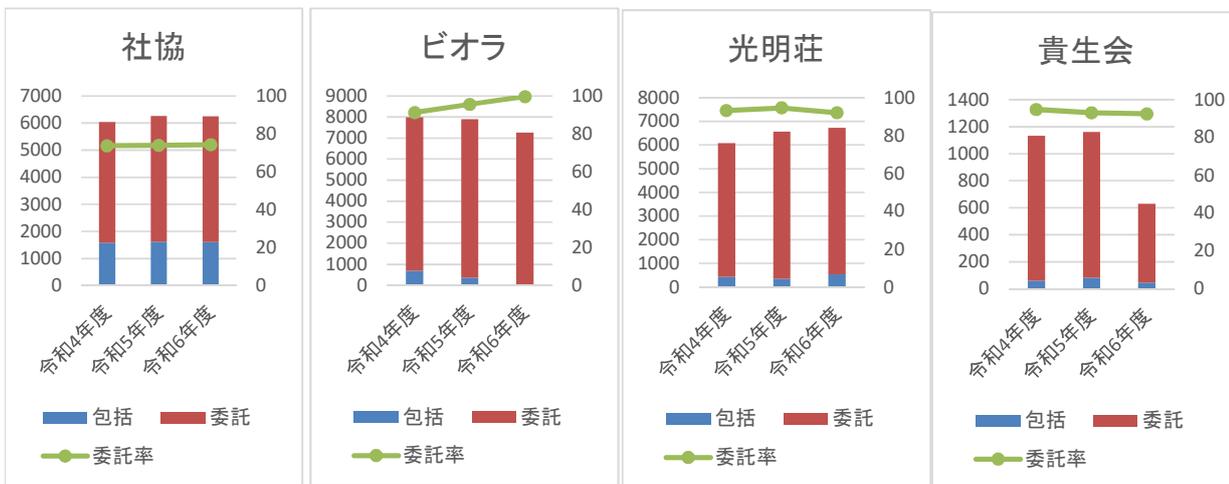
③評価件数：目標に対する効果評価件数(延)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
社会福祉協議会	実人数	124 人	106 人	147 人
	改善	41.2 %	40.3 %	42.0 %
	維持	39.5 %	44.9 %	33.3 %
	悪化	19.3 %	14.8 %	24.6 %
ピオラ和泉	実人数	114 人	58 人	6 人
	改善	36.8 %	60.2 %	50.0 %
	維持	47.4 %	25.0 %	0.0 %
	悪化	15.8 %	14.8 %	50.0 %
光明荘	実人数	77 人	59 人	89 人
	改善	50.0 %	35.3 %	37.8 %
	維持	35.4 %	39.7 %	31.6 %
	悪化	14.6 %	25.0 %	30.6 %
貴生会	実人数	41 人	67 人	57 人
	改善	45.3 %	22.4 %	20.3 %
	維持	34.0 %	56.5 %	46.4 %
	悪化	20.8 %	21.2 %	33.3 %

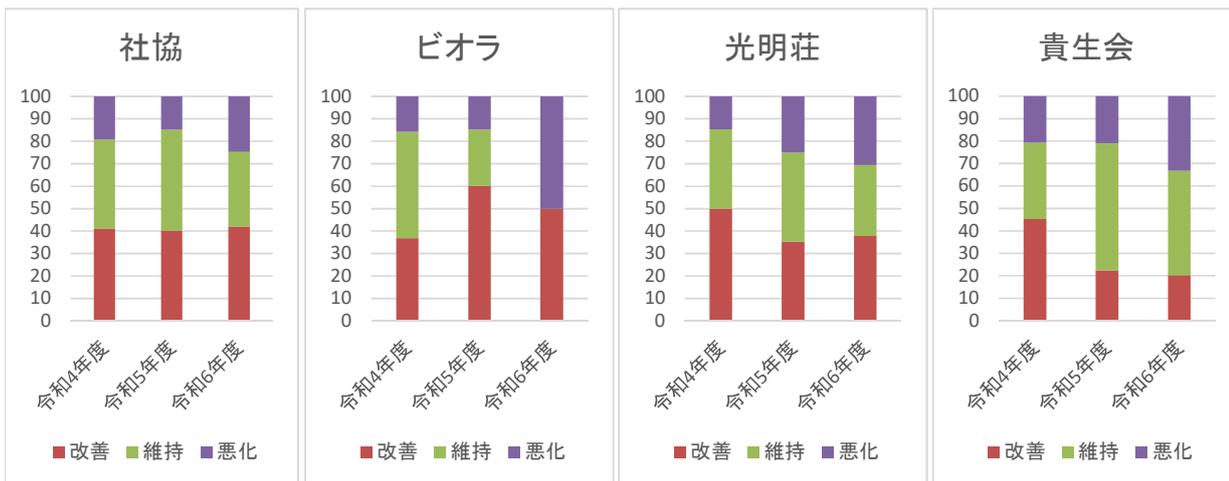
①プラン作成件数（新規・更新）



②給付管理件数（延）



③評価件数：目標に対する効果評価件数（延）



●新規、給付管理共に多くのプランを民間の居宅介護支援事業所へ再委託を行っている状況。
 ⇒包括業務として相談ケースの増加や多様化、地域への各種事業の普及啓発活動などの必要性の増加など、多くの事業があることから包括によるプラン作成が困難になってきている。このことを受け、介護予防支援について、令和6年から居宅介護支援事業所も市町村からの指定対象となり、ケアプラン作成が可能となった。

5. 権利擁護業務（延）

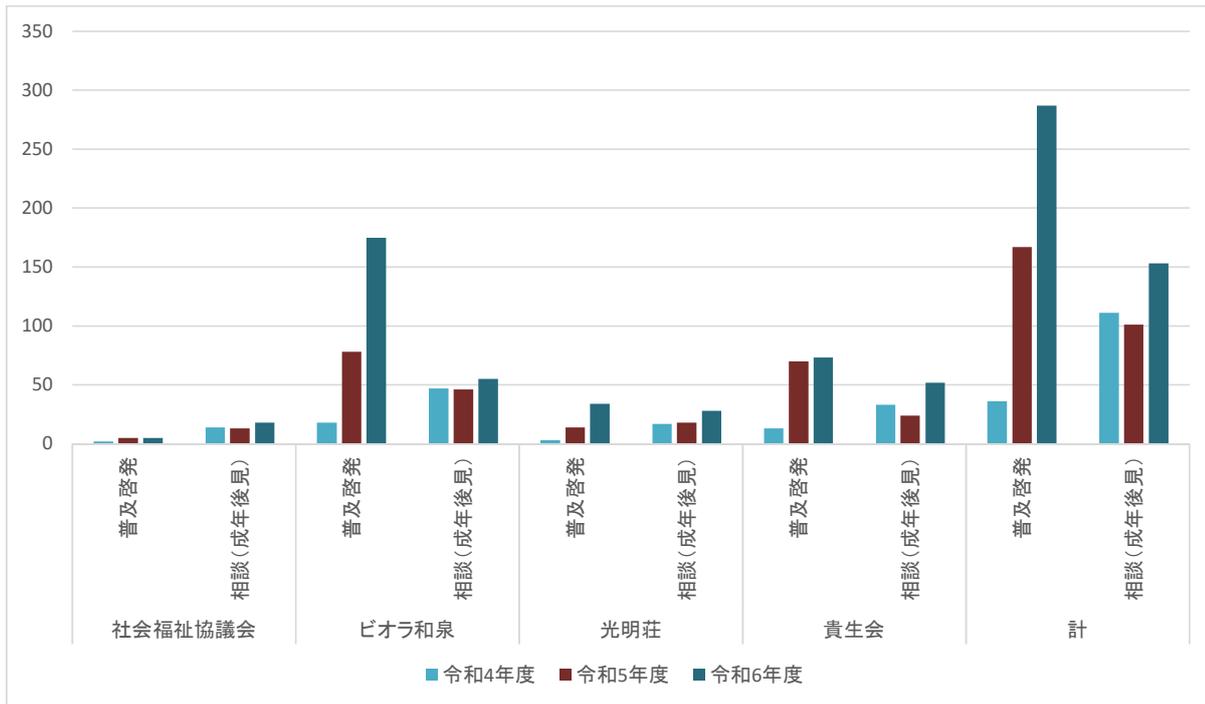
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
社会福祉協議会	普及啓発	2 件	5 件	5 件
	相談（成年後見）	14 件	13 件	18 件
ピオラ和泉	普及啓発	18 件	78 件	175 件
	相談（成年後見）	47 件	46 件	55 件
光明荘	普及啓発	3 件	14 件	34 件
	相談（成年後見）	17 件	18 件	28 件
貴生会	普及啓発	13 件	70 件	73 件
	相談（成年後見）	33 件	24 件	52 件
計	普及啓発	36 件	167 件	287 件
	相談（成年後見）	111 件	101 件	153 件

※参考「虐待通報受理件数」の虐待種別内訳について（単位：件）

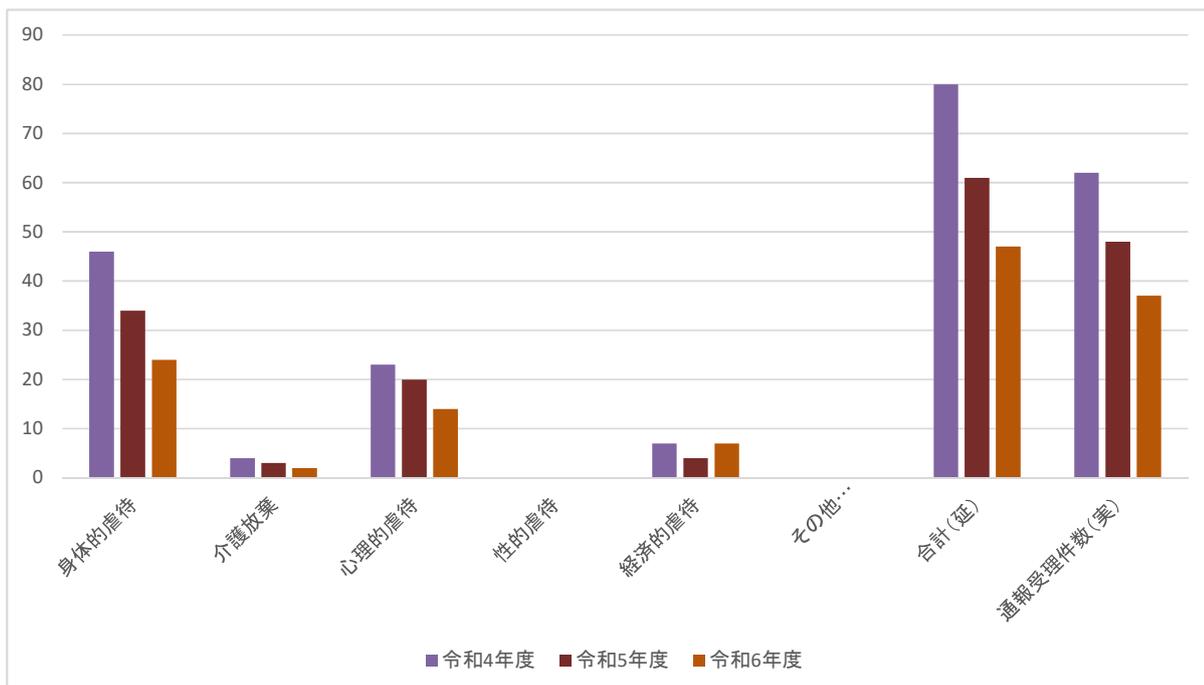
種別 \ 年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
身体的虐待	34	24	42
介護放棄	3	2	4
心理的虐待	20	14	16
性的虐待	0	0	0
経済的虐待	4	7	6
その他 （セルフネグレクト等）	0	0	1
合計（延）	61	47	69
通報受理件数 （実）	48	37	57

○通報受理件数1件に対し、複数の虐待種別が重複する場合があるため、虐待種別の合計（延）は、通報受理件数（実）よりも多くなっています。

権利擁護業務



内訳



●R6年度も経済的虐待の件数が同数程度発生しており、高齢者の財産を守り、尊厳を保持する為、成年後見制度の周知や利用促進を成年後見人サポートセンターと連携しすすめていく。

6. 包括的・継続的ケアマネジメント業務

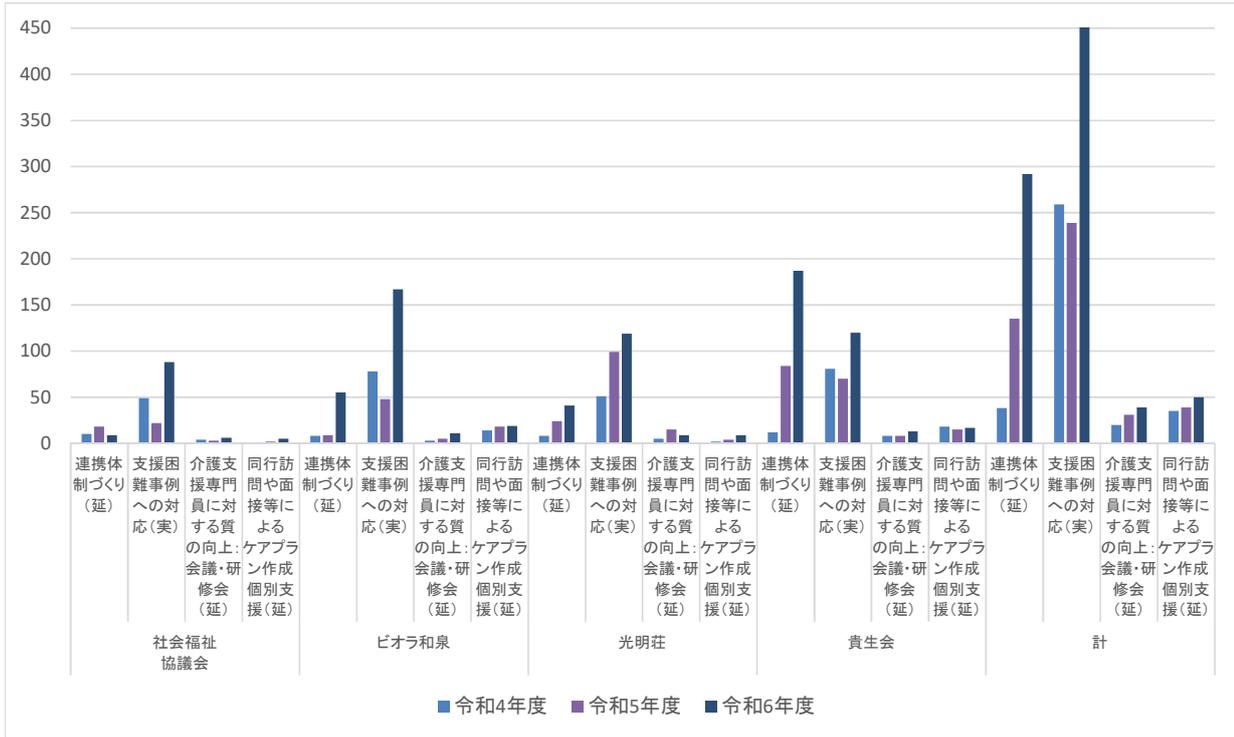
①包括的・継続的ケアマネジメント業務

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
社会福祉協議会	連携体制づくり（延）	10 件	18 件	9 件
	支援困難事例への対応（実）	49 件	22 件	88 件
	介護支援専門員に対する質の向上： 会議・研修会（延）	4 件	3 件	6 件
	同行訪問や面接等による ケアプラン作成個別支援（延）	1 件	2 件	5 件
ピオラ和泉	連携体制づくり（延）	8 件	9 件	55 件
	支援困難事例への対応（実）	78 件	48 件	167 件
	介護支援専門員に対する質の向上： 会議・研修会（延）	3 件	5 件	11 件
	同行訪問や面接等による ケアプラン作成個別支援（延）	14 件	18 件	19 件
光明荘	連携体制づくり（延）	8 件	24 件	41 件
	支援困難事例への対応（実）	51 件	99 件	119 件
	介護支援専門員に対する質の向上： 会議・研修会（延）	5 件	15 件	9 件
	同行訪問や面接等による ケアプラン作成個別支援（延）	2 件	4 件	9 件
貴生会	連携体制づくり（延）	12 件	84 件	187 件
	支援困難事例への対応（実）	81 件	70 件	120 件
	介護支援専門員に対する質の向上： 会議・研修会（延）	8 件	8 件	13 件
	同行訪問や面接等による ケアプラン作成個別支援（延）	18 件	15 件	17 件
計	連携体制づくり（延）	38 件	135 件	292 件
	支援困難事例への対応（実）	259 件	239 件	494 件
	介護支援専門員に対する質の向上： 会議・研修会（延）	20 件	31 件	39 件
	同行訪問や面接等による ケアプラン作成個別支援（延）	35 件	39 件	50 件

②地域ケア会議開催件数

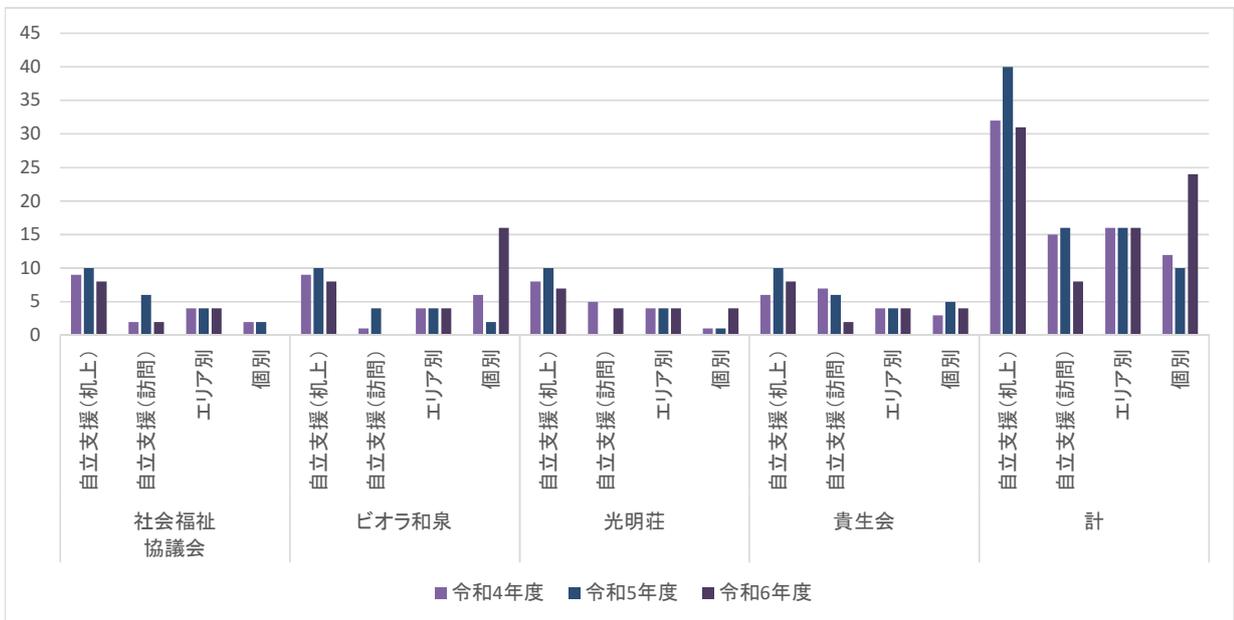
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
社会福祉協議会	自立支援（机上）	9 件	10 件	8 件
	自立支援（訪問）	2 件	6 件	2 件
	エリア別	4 件	4 件	4 件
	個別	2 件	2 件	0 件
ピオラ和泉	自立支援（机上）	9 件	10 件	8 件
	自立支援（訪問）	1 件	4 件	0 件
	エリア別	4 件	4 件	4 件
	個別	6 件	2 件	16 件
光明荘	自立支援（机上）	8 件	10 件	7 件
	自立支援（訪問）	5 件	0 件	4 件
	エリア別	4 件	4 件	4 件
	個別	1 件	1 件	4 件
貴生会	自立支援（机上）	6 件	10 件	8 件
	自立支援（訪問）	7 件	6 件	2 件
	エリア別	4 件	4 件	4 件
	個別	3 件	5 件	4 件
計	自立支援（机上）	32 件	40 件	31 件
	自立支援（訪問）	15 件	16 件	8 件
	エリア別	16 件	16 件	16 件
	個別	12 件	10 件	24 件

①包括的・継続的ケアマネジメント業務



- 高齢者の増加に加え、高齢者のニーズが多様化してきており、連携体制づくりは重要度を増してきている。
- 介護予防支援についても、居宅介護支援事業所が直接プランを持つケースも出てきており、連携体制づくりをはじめ、地域へのケアマネへの支援体制の重要度が増している。

②地域ケア会議開催件数



- 地域ケア会議の件数は徐々にではあるが、増加傾向にあります。自立支援型地域ケア会議の促進は、自立支援の視点をもつ専門職の増加、マネジメントの質向上、多職種連携強化、地域課題の把握と社会資源の創出にもつながる重要な取組です。居宅介護支援事業所による積極的な利用を目指し、更なる周知啓発を行ってまいります。

事業内容の説明

1 地域包括支援センターの職員体制

地域包括支援センターの職員体制については、法律で3職種の配置が義務づけられている。

2 総合相談支援業務

包括の職員が相談を受けた件数。

生活支援コーディネーター、認知症地域支援推進員が受けた相談数も含む。

3 介護予防普及啓発業務

包括が「いきいきすみ体操」を地域に広めた件数。1日講座：包括がおためしで地域に普及する講座

シリーズ講座：事業者が決定するまでは包括が、決定後は事業者が1日講座受講団体対象にいきいきすみ体操活動団体本格立ち上げに向けて全3回で介護予防を啓発する講座。

4 介護予防ケアマネジメント業務

要支援者（事業対象者含む）のケアプランは法律で包括が作成することになっている（委託可能）

令和6年からは市の指定を受けた居宅介護支援事業所も介護予防支援（ケアプラン作成）が可能となった。

給付管理：要支援者の給付管理は包括が行うこととなっている給付費の支払いに関連した一連の業務。

5 権利擁護業務

成年後見制度の活用のサポートや、消費者被害、虐待対応・防止・早期発見などの高齢者の権利を守る活動

6 包括的・継続的ケアマネジメント業務

地域全体の医療・保健・介護分野の専門家から地域住民まで幅広いネットワークをつくるための活動

・自立支援（机上型）：月1回程度定期開催。理学療法士・作業療法士・管理栄養士・歯科衛生士・地域包括支援センター・ケース担当ケアマネジャー等が個別事例を自立支援の視点で検討を行っている地域ケア会議。

・自立支援（訪問型）：随時開催。個別事例について、作業療法士や管理栄養士・歯科衛生士と地域包括支援センター・ケース担当ケアマネジャー等が自宅を訪問し、対象者や家族とともに自立支援の視点で検討を行っている地域ケア会議。

・エリア別：各圏域で年間4回定期開催。地域における課題について、地域包括支援センター・基幹型地域包括支援センター・認知症機能強化型地域包括支援センター・CSW・和泉市社会福祉協議会・市、必要に応じて地域住民や関係機関が参加し検討する地域ケア会議。

・個別地域ケア会議：各圏域毎に随時開催。地域住民の日常生活における困難なことについて、本人・家族・関係機関・自治会など地域の関係者を含め検討する地域ケア会議。

Ⅲ-3 令和6年度 基幹機能強化型地域包括支援センターの活動状況（年間）

1. 基幹型地域包括支援センターの職員体制

職種	常勤換算	業務比率	
		本来業務	その他業務
社会福祉士	1人	92 %	8 %

2. 基幹型地域包括支援センターの活動状況

（1）後方支援の具体的取り組みについて

○介護予防普及啓発業務

<p><実施内容・結果></p> <p>①和泉市民健康まつり、シニア運動会、光明池まちフェスにて、いきいきすみ体操の体験や簡易フレイル検査、体力測定、相談会などを実施。包括の各職種による啓発も同時に行い、幅広い世代の参加者に対し、介護予防や包括の取り組み全般を周知できた。</p> <p>②啓発の場の情報として、市社協よりいきいきサロンの開催状況一覧と協議の場の状況を入手し、各包括に提供した。</p>
<p><事業計画策定に向けて課題></p> <p>コロナ禍以降、大人数が集まるイベントが順次再開されており、包括の各取り組みを周知できる機会は増えている。対象を高齢者だけに絞らず、子世代・孫世代にも届くような内容を考えつつ、他団体との連携を強化しながら普及啓発していきたい。</p>

○介護予防ケアマネジメント業務

<p><実施内容・結果></p> <p>①指定介護予防支援事業所の拡大により、包括を介さず直接居宅介護支援事業所と契約できることとなり、契約書や重要事項説明書など四包括統一で使用する様式の改定、指定事業所用のひな型を、市と調整して作成した。</p> <p>②意欲を引き出すプランのあり方や地域の社会資源活用を委託先の介護支援専門員に伝えるため、包括プランナー・保健師等・主任介護支援専門員とともに、介護予防ケアマネジメント研修を実施した。</p>
<p><事業計画策定に向けての課題></p> <p>介護予防支援の流れが変わりつつあるが、「包括の一定の関与」がどこまで求められるかを見定め、ケアマネジメント研修の在り方や情報管理の仕方などを検討中である。</p>

○権利擁護業務

<p><実施内容・結果></p> <p>①令和6年10月に開所したいすみ成年後見人サポートセンターとの連携において、基幹包括が後見運営会議と協議会に代表出席し、包括が直面する課題をまとめたり、相談対応する中で見えた課題を市と共有し、現状の把握と改善にむけて協議した。</p> <p>②高齢者虐待においては、各包括から虐待グレーケースの相談を実数6件応じ、適宜対応策を一緒に考えた。虐待事案に関しては、虐待防止法に基づく対応は終結したものの、関係性の悪化で再発するケースや見守り支援で継続することも多く、支援に終わりが見えないため包括だけで抱え込まないよう、他機関や地域の協力を得るよう助言している。</p>
<p><事業計画策定に向けての課題></p> <p>成年後見制度の利用促進については、次年度からは各包括が運営会議に出席するため、サポートセンターと包括双方の役割を明確にしながら協働体制を構築していく必要がある。</p>

○包括的・継続的ケアマネジメント業務

<p><実施内容・結果></p> <p>①四包括の主任介護支援専門員による法定外研修が行われるにあたり、企画を後方支援した。</p> <p>②障がい福祉サービスから介護保険サービスへ移行する際の課題共有について、障がい相談機関側と包括側を調整し、スムーズに連携するための勉強会実施を支援した。</p>
<p><事業計画策定に向けての課題></p> <p>制度やサービスのタイムリーな情報を介護支援専門員が収集できるようにすることに加え、介護支援専門員の負担軽減は全国的な課題である。カスタマーハラスメントの対応については近年課題となっており、ポスター作製や研修実施につなげたい。</p>

○多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築（地域ケア会議の推進）

<p><実施内容・結果></p> <p>①個別地域ケア会議の積極的な開催に向け、事前相談で助言を行い、必要に応じ会議に同席しサポートに入った。結果、令和5年度の10件と比べ、令和6年度は24件と飛躍的に開催回数を増やすことができた。</p> <p>②エリア別地域ケア会議は圏域ごとに年4回ずつ開かれるが、要点を絞った議題提出ができるよう1か月前に各包括と打合せ会議を行っている。当日は参加機関それぞれが情報共有し、できることについて有機的に話し合いが行われている。</p>
<p><事業計画策定に向けての課題></p> <p>個別地域ケア会議の積極的な開催に向け、事前相談で助言したり、同席サポートを行う予定。</p>

(2) 開催会議

主任介護支援専門員関係	基幹ヒアリング	4回
	障がい・介護連携勉強会	1回
社会福祉士関係	基幹ヒアリング	4回
	虐待グレー会議	4回
	民生委員高齢福祉部会勉強会（高齢者虐待について）	1回
	包括・いきいきネット相談支援センター交流会	1回
保健師等関係	基幹ヒアリング	4回
包括全体	包括新任職員向け研修（業務全般について）	4回
	新任プランナー向け研修（基礎）	3回
	介護保険制度研修（基礎）	1回
	新任職員3か月後プロセス評価（個人面談）	3回

(3) 会議・研修出席

主任介護支援専門員関係	和泉市医療と介護の連携推進専門部会	6回
	主任介護支援専門員連絡会	6回
	法定外研修	3回
社会福祉士関係	法律相談（弁護士によるアドバイザー事業）	2回
	高齢者虐待防止実務者会議	1回
	高齢者虐待防止ネットワーク運営会議	4回
	高齢者虐待レビュー会議	3回
	高齢消費者被害防止研修	1回
	意思決定支援研修会	1回
	後見申立支援勉強会	2回
保健師等関係	介護予防活動支援会議	5回
	介護予防ケアマネジメント研修（企画会議含む）	7回
包括全体	センター長会議	3回
	包括責任者会議	1回
	包括運営協議会	2回
	エリア別地域ケア会議前調整会議	4回×4か所
	エリア別地域ケア会議	4回×4か所
	民生児童委員高齢福祉部会	1回
	認知症市民フォーラム2024	1回
	医療と介護の連携推進フォーラム	1回
	第5次和泉市地域福祉基本・活動計画アクションプラン実践報告会	1回
	運営指導監査対策講座	1回
Ayamuを活用した地域情報交換会	1回	
包括の代表として出席	和泉市医療と介護の連携推進審議会	1回
	和泉の地域医療を考えるシンポジウム（多職種でつなぐACP）	1回
	成年後見制度利用促進協議会（運営会議）	3回
	成年後見制度利用促進協議会（協議会）	1回
	認知症支え愛を考えるまちづくり連絡会	2回
	認知症初期集中支援チーム検討委員会	1回
	通所型短期集中介護予防事業等に係る事業所選定プロポーザル審査	1回
市関係	市・強化型ミーティング	12回

(4) 市民への啓発活動

健康まつり	1回
光明池あんしんすこやかまちフェスタ（堺市南区包括と光明荘・貴生会包括のコラボ企画）	1回
年輪大学院	1回
見守りキーホルダー啓発（ファミリーマート・障害者作業所・和泉市・包括コラボ企画）	1回

(5) 相談受付

相談件数（延）	391件
相談者：市内4包括、和泉市（高齢介護室・福祉総務課・くらしサポート課・障がい福祉課・保険年金室・人権男女参画室）、認知症強化型包括、他市包括、広域事業者、和泉保健所、医療介護連携推進コーディネーター、社会福祉協議会地域福祉係、障がい者基幹相談支援センター、いきいきネット相談支援センター、いずみ成年後見人サポートセンター、シルバー人材センター、市立総合医療センター、民生委員児童委員協議会、サービス事業所、近畿大学	
内、総合事業に関連した相談・支援件数	12件

主な相談内容

- ・包括業務や運営に関する事
- ・法改正、改正に伴う様式変更、国保連への請求、WINCAREソフトに関する事
- ・活動実績報告書（月報）、高齢者福祉サービスの変更に関する事
- ・地域支援、ネットワーク作りに関する事
- ・成年後見制度利用促進に関する事
- ・医介連携、ACP、障介連携（65歳移行）に関する事
- ・生活困窮支援（社会貢献支援制度）に関する事
- ・民生委員児童委員と包括の連携強化に関する事
- ・災害支援、BCPに関する事

Ⅲ-5. 令和6年度認知症機能強化型地域包括支援センターの活動状況（R6.4月～R7.3月）

1. 認知症機能強化型地域包括支援センターの職員体制

職種	業務比率	
	本来業務	その他業務
認知症地域支援推進員	100 %	0 %

2. 認知症に対する正しい知識の普及啓発

(1) サポーター養成講座支援

開催場所	小・中・高校	企業	地域	計	学校関係では、校長先生や地域住民代表等の協力により目標であった中学校で実施できた。小学校は、21校中17校で実施ができた。大学、高校は、2年連続開催で、今後も開催が期待できる。また、緑ヶ丘小学校の講座の翌週に、地域の「声かけ見守り訓練」を実施したが、事前に地域と学校をつないで企画し、児童にはオレンジリングをもって地域活動に参加するよう促した。今後も「認知症サポーター養成講座」を起点に、学校や地域、事業や地域活動など、実践につなぎ、地域全体の認知症理解を深めることを目指したい。さらに、幅広い世代へのアプローチのため、地域住民に加え、企業や事業所との連携を深めていきたい。
開催件数（回）	21	8	24	53回	
参加者（人）	1,725	124	704	2,553	

(2) キャラバンメイト支援

班長会（回）	8回	「認知症サポーター養成講座」一般用テキストの変更に伴い、キャラバン・メイト班長会をほぼ毎月開催し、R6年度講座原案を作成した。さらに、その原案についてキャラバン・メイト連絡会（全体会）で意見交換し、ともに作り上げた。新たなキャラバン・メイト養成に加え、他市からの異動もあり、12名が和泉市に新規登録され、年度内に1回以上は講師ができるよう支援した。また、活動していなかったメイトの活躍を支援することもできた。今後もキャラバン・メイト班長を中心としてキャラバン・メイトとの連携をとり、内容を充実していく必要がある。課題として、講座の増加に対し、メイトの高齢化や現職業務との調整、スキルアップの必要性など、一部のキャラバン・メイトに負担がかかっている現状もある。今後、ボランティア活動への支援体制を整え、活動を続けやすくするしくみを検討していきたい。
連絡会（回）	2回	

3. 市民見守り力の向上

(1) SOS声かけ見守り訓練

緑ヶ丘校区声かけ見守り体験会	78名	「SOSおかえりネットワーク見守り声かけ訓練事業」の実施にあたり、今の時代に合った企画でとの主催者の意見から、「声かけ見守り体験会」として新たに企画した。会議を重ねたことで、参加者は体験をすることと備えることの大切さを実感することができたと感じる。今後は、自治会員の超高齢化、加入者の減少、校区社協の事業の増大等を勘案し、実施方法の小規模化の検討や、イベント式でなく各自がともに考え備えることができる企画が求められている。また、今回避難所を想定したシナリオを追加したが、講座や体験会と防災訓練がつながり、災害時の避難所でのイメージを日常で体験し、住民が共有しておくことで、災害時に備えることができると考える。
----------------	-----	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(2) チームオレンジの構築

ステップアップ講座開催数	2回	ステップアップ講座、認知症パートナー交流会を各2回実施した。地域の方がともに考え、支え合えるまちづくりを目指した内容で、今後のパートナーとしての活動に繋げることができた。各包括の認知症地域支援推進員の協働もあり、チームオレンジの立ち上げが進み、目標を達成することができた。
認知症パートナー連絡会開催数	2回	
チーム立ち上げ件数	67回	
認知症パートナー数（累積）	264人	

4. 認知症医療介護連携

もの忘れ相談会	10回	もの忘れ相談会は、5月を除いて全ての月に本人の参加があった。本人自らの申し込みが増えている傾向がある。
初期集中支援	9回	初期集中支援は4月、6月、8月以外毎月実施した。初期集中検討委員会を6月、サポート医連絡会を6月と12月に実施した。サポート医連絡会では認知症サポーターステップアップ講座の内容等を検討し、サポート医とキャラバン・メイトによる認知症サポーターステップアップ講座を令和5年度同様2回開催した。
その他	3回	

5. 認知症ケアの質向上

研修・講座等開催	12回	「包括新人職員研修」「緑ヶ丘地区民児協勉強会」「緑ヶ丘自治会主催SOSおかえりネットワークの説明会」「貴生会主催の法定外研修、初期集中支援の事例から公認心理師の役割」など各包括からの依頼で地域住民はじめサービス事業所を対象に研修等を行った。チームオレンジを前提としつつ、SOSおかえりネットワーク等への取り組みを話した。アイ・あいロビーからの依頼では、「ボランティアの初級編講座」として見守りについて講義をした。桃山学院大学「高齢者福祉論」では、4つの地域包括支援センター職員も参加し、学生に和泉市の高齢者の生活実態と施策を伝え、その他にも、声かけ体験会に先駆けたゼミへの参加や講義を実施した。また、市民フォーラムでは、若年性認知症本人の体験をもととした映画「オレンジランプ」を上映し、アフタートークで当事者の声を聞いた。さらに、1月の「認知症関連ボランティア等研修」では、「オレンジランプ」のモデルとなった丹野智文氏を招き、桃山学院大学や桃山なごみ会と共同し、当事者の声を届けた。今後も、認知症ケアの質向上は、研修を全体的な視点から集約し、企画をつないで集約し、住民にフィードバックしていきたい。
----------	-----	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

6. 本人・家族支援

オレンジカフェ関連 (施設カフェ・まちカフェ)	82回	令和5年度に続き、Caféるあな、エクウス、友里の3施設がオレンジカフェを開催。また、令和6年度は、貴生会在宅生活サポートセンター、ピオラ和泉つながりカフェ、光明荘3丁目カフェの3施設が再開し、施設カフェは47回開催した。12月には、初めての「まちカフェ」としてコミュニティーカフェ和（にこ）が開設され、35回開催した。ふらっとカフェは4月と12月を除き10回開催したが、参加者がいない月もあった。家族会は、隔月開催のなごみ会（桃大主催）に参加した。
家族会関連	7回	
その他 (ふらっとカフェ)	10回	

7. 地域包括支援センターの認知症施策に関する統括業務

R6年1月の共生社会を実現するための認知症基本法の施行は、和泉市においても、いろいろな取り組みの推進力となった。チームオレンジの立ち上げはR6年度の目標は40チームであり、立ち上げ開始からの合計目標の70チームを達成し、R6年3月末で97チームが立ち上がっている。R6年10月に各包括へ認知症地域支援推進員が設置されたことで、地域住民や専門職へのアプローチやステップアップ講座受講者への声かけもスムーズになった。今後は、地域住民が集える・活動できる場づくりも含め、認知症パートナーやチームオレンジへ継続的に後方支援を行いながら、認知症関連ボランティアやサポート医等との医介連携、地域包括支援センターの認知症地域支援推進員との連携をさらに強化していきたい。		
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--

8. 会議出席状況（出席した会議のみ記載を）

包括全体	<ul style="list-style-type: none"> ・エリア別地域ケア会議（第1圏域）0回 ・エリア別地域ケア会議（第2圏域）0回 ・エリア別地域ケア会議（第3圏域）0回 ・エリア別地域ケア会議（第4圏域）1回 ・包括・強化型合同会議 9回 ・包括運営協議会 0回 	10回
市	<ul style="list-style-type: none"> ・市／強化型ミーティング 	15回
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・緑ヶ丘個別地域ケア会議 1回 ・SOSネットワーク関係機関会議 13回 ・認知症支え“愛”を考えるまちづくり連絡会 2回 	16回

※SOSネットワーク関連機関会議
 ・緑ヶ丘校区社協の実行委員会は、その事務方会議、協議の場合、計11回参加。
 ・光明台南校区の中学校や次年度に向けて住民代表、中学校長、相談機関の参加する会議を1回開催。
 ・警察、消防も参加した市主催のSOSネットワーク会議に参加1回。

9. 関係者からの相談件数

内) 対応の件数 (延) : 対応方法別	訪問	電話	会議	他	計
	34 件	89 件	11 件	8 件	142 件

相談者

地域包括支援センター	40 件	サービス事業所	7 件	住民組織団体	23 件
社協	7 件	医療機関	7 件	その他	26 件
CSW	1 件	キャラバンメイト	16 件		
居宅介護支援事業所	6 件	カフェボランティア	9 件		

相談内容<内：相談件数(延)>

サポーター養成	30 件	認知症ケア	17 件	その他	15 件
キャラバンメイト	6 件	認知症カフェ	8 件	計 142 件	
医療介護連携	28 件	福祉サービス	0 件		
見守り力	33 件	介護保険関連	5 件		

強化型として、昨年同様地域に向く機会が増えたことで、直接住民や住民団体から講座開催にあたっての相談が入っている。学校については講座開催の詳細についての相談がある。また、医介連携の相談では、包括職員の変更などから、初期集中支援チーム会議の事例相談や、病院の地域連携室から入院拒否の認知症対応の相談があった。もの忘れ相談会から初期集中支援チーム会議への検討やかかりつけ医への報告など医師への関わり方や、認知症ケアバス活用についての相談も入っている。これらの相談内容について、R7年度も、包括の認知症地域支援推進員と連携し、適切な活動を行っていく。

Ⅱ-5. 令和6年度 認知症地域支援推進員の活動状況について

令和6年10月～

各年度3月末現在

1. 認知症医療介護連携（初期集中支援チーム員事業）

		令和6年度
社会福祉協議会	事前調整・打合せ	2 件
	参加	4 件
ピオラ和泉	事前調整・打合せ	1 件
	参加	1 件
光明荘	事前調整・打合せ	0 件
	参加	1 件
貴生会	事前調整・打合せ	1 件
	参加	3 件
計	事前調整・打合せ	4 件
	参加	9 件

2. 市民見守り力の向上

(1) 地域の企業へのアプローチ

		令和6年度
社会福祉協議会	訪問の実施回数	8 件
	アンケートの実施	8 件
ピオラ和泉	訪問の実施回数	8 件
	アンケートの実施	8 件
光明荘	訪問の実施回数	4 件
	アンケートの実施	2 件
貴生会	訪問の実施回数	7 件
	アンケートの実施	9 件
計	訪問の実施回数	27 件
	アンケートの実施	27 件

(2) チームオレンジの構築・地域の事業所との関係構築

		令和6年度	
社会福祉協議会	ニーズ収集体数	2	件
	個別ニーズ収集人数	3	件
	ステップアップ講座参加促し数	4	件
	認知症パートナー連絡会参加促し数	10	件
	チーム立上げ支援件数	2	件
	出張講座の実施回数	0	件
	チームオレンジへの訪問件数	1	件
ピオラ和泉	ニーズ収集体数	7	件
	個別ニーズ収集人数	0	件
	ステップアップ講座参加促し数	43	件
	認知症パートナー連絡会参加促し数	20	件
	チーム立上げ支援件数	48	件
	出張講座の実施回数	1	件
	チームオレンジへの訪問件数	36	件
光明荘	ニーズ収集体数	6	件
	個別ニーズ収集人数	0	件
	ステップアップ講座参加促し数	0	件
	認知症パートナー連絡会参加促し数	0	件
	チーム立上げ支援件数	1	件
	出張講座の実施回数	1	件
	チームオレンジへの訪問件数	2	件
貴生会	ニーズ収集体数	0	件
	個別ニーズ収集人数	0	件
	ステップアップ講座参加促し数	4	件
	認知症パートナー連絡会参加促し数	0	件
	チーム立上げ支援件数	2	件
	出張講座の実施回数	0	件
	チームオレンジへの訪問件数	4	件
計	ニーズ収集体数	15	件
	個別ニーズ収集人数	3	件
	ステップアップ講座参加促し数	51	件
	認知症パートナー連絡会参加促し数	30	件
	チーム立上げ支援件数	53	件
	出張講座の実施回数	2	件
	チームオレンジへの訪問件数	43	件

3. 本人・家族支援

		令和6年度	
社会福祉 協議会	オレンジカフェ関連	2	人
	家族会関連	3	人
	その他	3	人
ピオラ 和泉	オレンジカフェ関連	7	人
	家族会関連	9	人
	その他	5	人
光明荘	オレンジカフェ関連	2	人
	家族会関連	3	人
	その他	0	人
貴生会	オレンジカフェ関連	4	人
	家族会関連	6	人
	その他	4	人
計	オレンジカフェ関連	15	人
	家族会関連	21	人
	その他	12	人

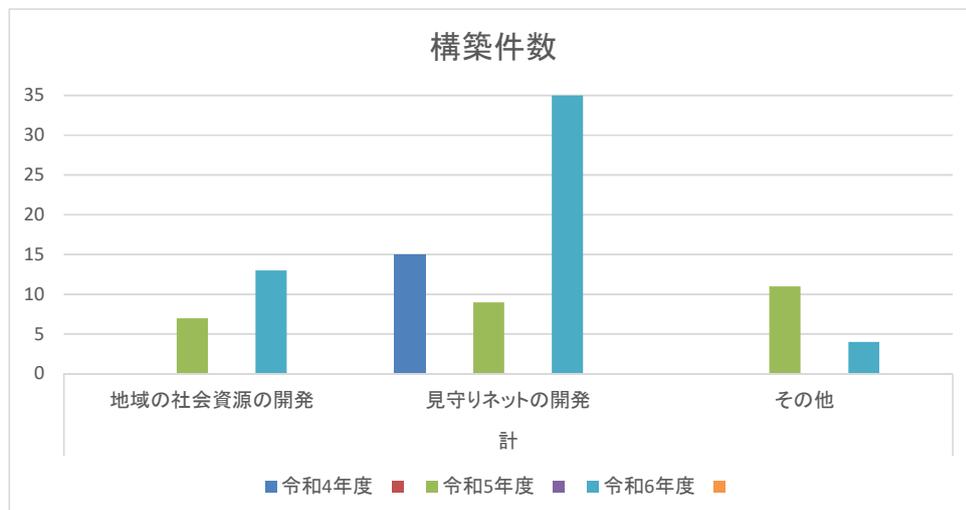
Ⅱ-4. 令和6年度 生活支援コーディネーター事業の活動状況について

各年度3月末現在

1. 地域におけるネットワークの構築

(1) 構築件数

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
社会福祉協議会	地域の社会資源の開発	0 件	0 件	0 件
	見守りネットの開発	0 件	0 件	3 件
	その他	0 件	1 件	0 件
ピオラ和泉	地域の社会資源の開発	0 件	3 件	12 件
	見守りネットの開発	2 件	7 件	11 件
	その他	0 件	0 件	2 件
光明荘	地域の社会資源の開発	0 件	3 件	0 件
	見守りネットの開発	0 件	1 件	20 件
	その他	0 件	0 件	0 件
貴生会	地域の社会資源の開発	0 件	1 件	1 件
	見守りネットの開発	13 件	1 件	1 件
	その他	0 件	10 件	2 件
計	地域の社会資源の開発	0 件	7 件	13 件
	見守りネットの開発	15 件	9 件	35 件
	その他	0 件	11 件	4 件



●いきいきいずみ体操の新規団体立ち上げ、移動スーパーの招致など、地域資源の開発を行った。

生活支援コーディネーター：

高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備を推進していくことを目的とし、地域において、生活支援および介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能を果たす者として、各包括に1名配置。

おたがいさまサポーター事業：

高齢者のちょっとした困りごとを解決するため、住民ボランティアを養成し、見守りを兼ねた支援を実施。

(2) 高齢者見守り協力事業所ネットワーク（協力事業所数）

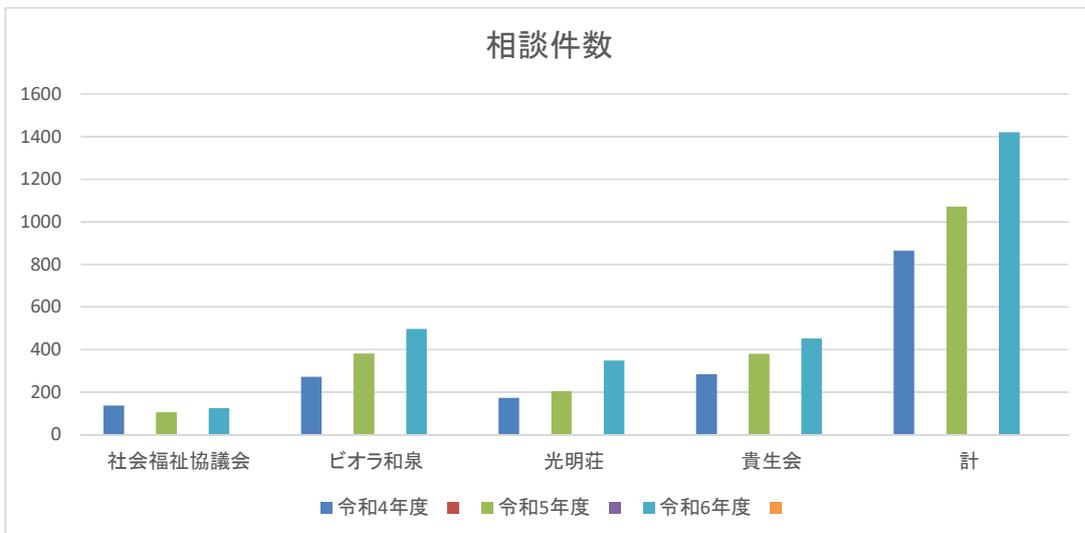
	令和4年度	令和5年度	令和6年度
社会福祉協議会	31 件	34 件	37 件
ビオラ和泉	52 件	60 件	74 件
光明荘	27 件	34 件	41 件
貴生会	54 件	58 件	65 件
市外	4 件	5 件	6 件
計	168 件	191 件	223 件

(3) サポーター登録件数

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
社会福祉協議会	0 人	0 人	14 人
ビオラ和泉	16 人	10 人	9 人
光明荘	4 人	9 人	22 人
貴生会	21 人	25 人	18 人
計	41 人	44 人	63 人

2. 地域における相談等への対応（相談件数：延）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
社会福祉協議会	136 件	106 件	125 件
ビオラ和泉	271 件	381 件	497 件
光明荘	174 件	204 件	348 件
貴生会	284 件	380 件	452 件
計	865 件	1071 件	1422 件



●R5からR6にかけて、おたがいさまサポーター、総合事業、包括業務等の相談件数が全体的に伸びており、事業の周知が進んだ結果だと考えられる。

3. おたがいさまサポーターの活動実績

(1) サポーター研修・マッチング件数

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
社会福祉協議会	地域出張型（個別）研修	6 件	3 件	2 件
	マッチング件数	7 人	2 人	4 人
ピオラ和泉	地域出張型（個別）研修	5 件	3 件	2 件
	マッチング件数	13 人	1 人	6 人
光明荘	地域出張型（個別）研修	3 件	3 件	1 件
	マッチング件数	7 人	3 人	1 人
貴生会	地域出張型（個別）研修	9 件	3 件	4 件
	マッチング件数	12 人	8 人	12 人
計	地域出張型（個別）研修	23 件	12 件	9 件
	マッチング件数	39 人	14 人	23 人

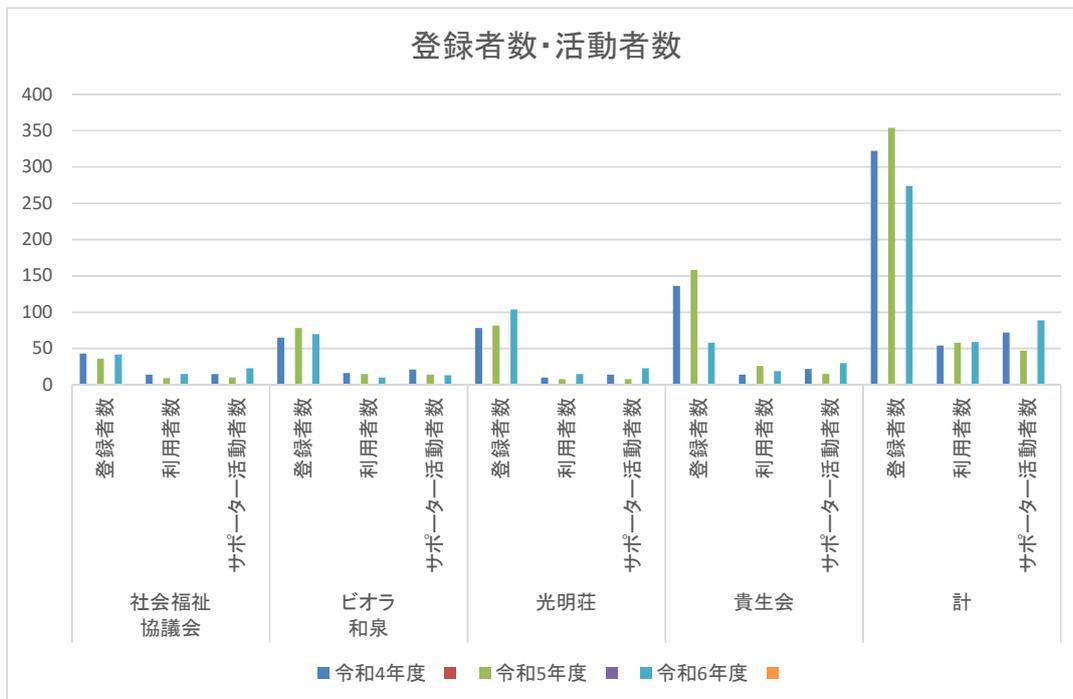
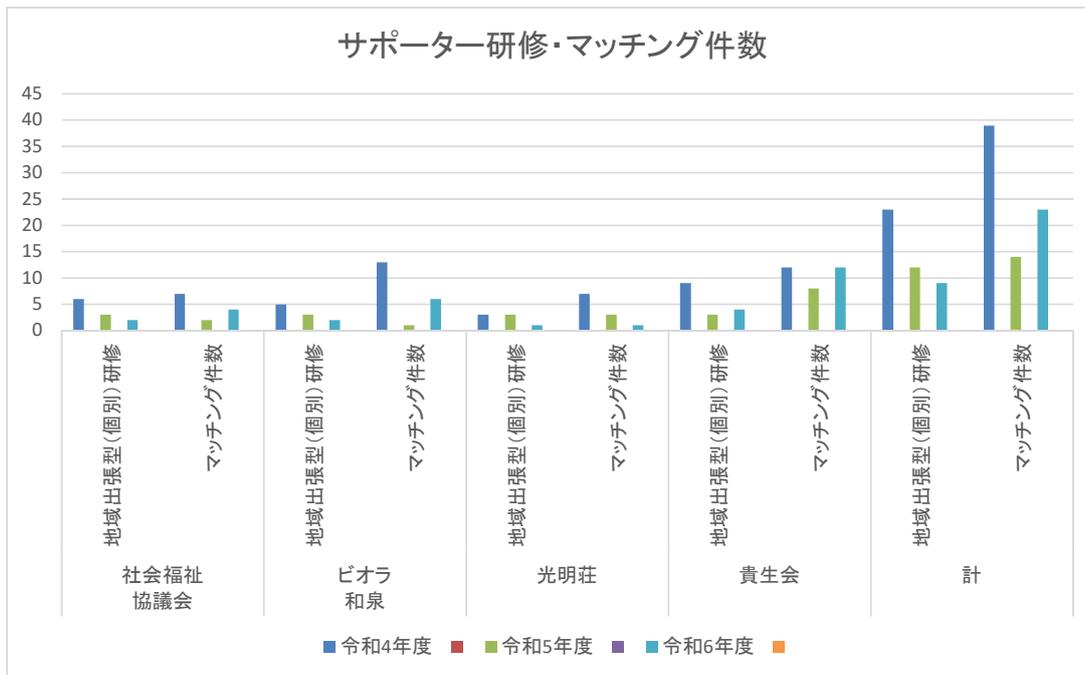
(2) 登録者数・活動者数

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
社会福祉協議会	登録者数	43 人	36 人	42 人
	利用者数	14 人	9 人	15 人
	サポーター活動者数	15 人	10 人	23 人
ピオラ和泉	登録者数	65 人	78 人	70 人
	利用者数	16 人	15 人	10 人
	サポーター活動者数	21 人	14 人	13 人
光明荘	登録者数	78 人	82 人	104 人
	利用者数	10 人	8 人	15 人
	サポーター活動者数	14 人	8 人	23 人
貴生会	登録者数	136 人	158 人	58 人
	利用者数	14 人	26 人	19 人
	サポーター活動者数	22 人	15 人	30 人
計	登録者数	322 人	354 人	274 人
	利用者数	54 人	58 人	59 人
	サポーター活動者数	72 人	47 人	89 人

(3) 活動の内訳

(単位：件)

	ごみ出し	お出かけ応援	買い物代行	図書館	家庭菜園	あったか訪問	合計
社会福祉協議会	7	3	2	0	2	4	18
ピオラ和泉	7	2	2	1	3	3	18
光明荘	7	3	2	0	2	4	18
貴生会	11	2	4	0	0	18	35
計	32	10	10	1	7	29	89



●サポーターの活動件数、利用者数ともにあまり伸びない状況が続いていたため、利用者のニーズに柔軟な対応ができるようにサポート体制の見直しを行い、1人の利用者に対して複数のサポーターが支援を行うことができるようにした。

⇒活動者数は伸びているものの利用者数の増加にはつながっていないため、市民のニーズにあったサービスを整えることで利用者の増加に取り組む。

令和7年度 地域包括支援センター職員一覧表

(令和7年7月1日)

名称	職種	氏名	意見欄記載可能な職員
和泉市社会福祉協議会 地域包括支援センター TEL 40-5377 FAX 41-3191 エリア担当 寺戸・清水	主任介護支援専門員	梶山 睦子	○
	社会福祉士	天野 眞由美	
	社会福祉士	梅田 理奈	
	看護師	山本 育代	○
	看護師/認知症地域支援推進員	福島 美砂	○
	介護支援専門員	森嶋 さわ子	
	介護支援専門員	濱野 久美子	
	生活支援コーディネーター	鬼塚 雄汰	
ビオラ和泉 TEL 46-0463 FAX 46-0466 エリア担当 門林	主任介護支援専門員	谷口 加代	○
	主任介護支援専門員	笠松 妙	○
	社会福祉士	谷 成子	
	社会福祉士	佐々木 和歌子	
	社会福祉士	濱崎 香奈	
	看護師/認知症地域支援推進員	嶋 深雪	○
	看護師	三浦 美幸	○
	生活支援コーディネーター	高呂 和樹	
光明荘 TEL 56-1886 FAX 56-1893 エリア担当 石田	主任介護支援専門員	宮地 結美子	○
	主任介護支援専門員	飯坂 孝子	○
	社会福祉士/認知症地域支援推進員	宮城 布希子	
	社会福祉士	藤井 理恵子	
	社会福祉士	正岡 路子	
	看護師	男知合 夕喜子	○
	看護師	横井 由美	○
	介護支援専門員	後藤 馨	○
	生活支援コーディネーター	倉橋 西紀	
貴生会地域包括支援センター TEL 58-7002 FAX 58-7003 エリア担当 野畑	主任介護支援専門員	和田 美加	○
	社会福祉士/認知症地域支援推進員	内藤 和剛	
	社会福祉士	人見 幸代	
	看護師	笹原 かおり	○
	保健師	宮石 香織	○
	介護支援専門員	石堂 利江子	○
	生活支援コーディネーター	楠本 裕香	
基幹機能強化型地域包括支援センター TEL 90-5790	社会福祉士	迫田 純子	
認知症機能強化型 地域包括支援センター TEL 56-2099	認知症地域支援推進員	折田 静香	
	認知症地域支援推進員	中村 未来	
	認知症地域支援推進員	矢野 智子	